

守山市立守山中学校

活動テーマ

持続可能な循環型社会を構築する創造的な人間の育成をめざして

実践事例について

本校は、平成28年11月に「琵琶湖からの風」や「太陽光」などの自然のエネルギーを最大限利用することにより、『消費エネルギー0』を目指すスーパーエコスクールとして、新校舎での生活をスタートさせた。新校舎を教材として、身近な生活環境を見直し、学校や家庭でエネルギー消費を抑制できることに気づき、地球温暖化の防止に向けた生活を営むことができる生徒を育成するために、3年間の系統立てた環境学習を行っている。

1. 継続した環境教育をめざして

本校の環境教育の取り組みが数年で終わってしまうものにならないために、以下の3つを大切にしてきた。

〈体験〉

生徒たちが体験を通して自ら課題を見つけ、仲間と協力して解決方法を見つけ出し、そのようなカリキュラム作成を行った。

〈連携〉

学校外の地域の方々の力を借りることで継続した環境学習を目指した。

〈発信〉

この校舎で学んだ生徒たちが、学んだことを生涯にわたり家庭や地域、ひいては世界全体に発信することが出来る力をつけてもらうことを目指した。

2. 1年生の学習内容（体験と連携）

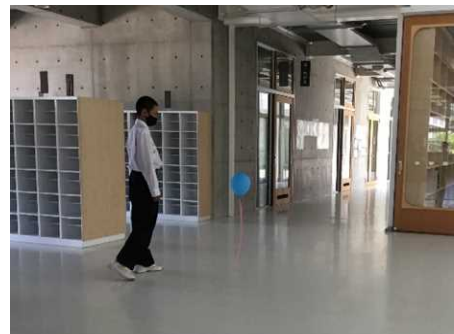
(1) 光の授業

新校舎の『自然光利用』の様々な仕組みを理解し、必要な光が確保されているにもかかわらず、気づかないうちに無駄に使ってしまっていることに気づかせる。授業後は、ただ照明器具を利用するのではなく、自然光を組み合わせるようになった。またこの学習を踏まえ、生徒会環境委員を中心に「その日の環境に応じて照明を正しく消す」取り組みを継続して行っている。

(2) 風の授業

新校舎の『自然の風利用』の様々な仕組みを理解し、快適に学校生活を送る方法につい

ての授業を行った。生徒は、窓の開け方によって風の動きが大きく変わることや琵琶湖を中心に湖陸風が発生していることに気づき、すぐに冷房に頼るのではなく、まずは自然の風を利用するようになった。



(3) 地球温暖化防止活動推進センター

地球の抱える大きな環境問題の一つである『地球温暖化』について知り、それを抑制するために私たちができる生活の工夫について考えるため、滋賀県地球温暖化防止活動推進センターの方々のワークショップによる出前授業を受けた。



(4) 市内環境施設訪問

地域連携の一環として、守山市内6か所を訪問し、フィールドワークを行った。地域の環境問題に触れることで、学校生活だけではなく、家庭内で自分自身が地域の環境を守るためにできる行動を考えた。



3. 2年生の学習活動（体験と連携）

(1) 県内環境施設訪問

「県内の自然と親しもう」というテーマで、滋賀県環境施設ガイドから学びたい施設を選び、自分たちで場所や交通手段を調べて計画を立てて訪問し、調査する。連携企業は年々増加傾向にある。今年度と昨年度は新型コロナウイルス感染症拡大の影響で中止せざるを得なくなったが、継続していきたい。

(2) 調べ学習

環境施設訪問の代替授業として、1人1台市から配備されているクロムブックを活用した調べ学習を行った。6つのテーマから、自分たちで調べてプレゼンテーションソフトでまとめて発表した。



4. 3年生の学習活動（発信）

(1) 小学校訪問

校舎の仕組みや3年間の環境学習で学んだことを班ごとにまとめ、クラスごとに手分けして校区の3つの小学校を訪問し、発表した。小学生に対してどのような発表をしたら伝わるのかを考え、何度も校内で練習を重ねていた。

5. 委員会の活動

環境委員が毎週照度調べを行い、不要な照明を消す取組を行った。学習に必要な明るさは700ルクスであり、晴れた日の太陽の光は1000ルクスを超えることもあった。700ルクス以上の照度が得られる場合は照明を消し、消費電力の削減を意識するための呼びかけを行った。

6. 成果と課題

新校舎が完成して5年。平成29年度の終わりには、一通りのカリキュラムが完成した。この取り組みの成果として、まず生徒が変わった。以前の修学旅行で、ガイドさんから「守山中学校の良いところはどこですか」と尋ねられて誰も何も答えられなかったことが印象に残っている。環境学習最後の小学校訪問を終えての感想に多くの生徒が「全国に7つしかないスーパーエコスクールの一つである守中に誇りを持てた。」と書いていた。入試の面接で「守山中学校の良いところはどこですか」と尋ねられたときにスーパーエコスクールの話をし、面接官の先生がすごく感心して聞いてくれてとてもうれしかったと報告してくれた生徒もいた。また、発表を聞いてくれた6年生の多くが感想に、「1年生の環境学習がとても楽しみになった。ぼくもこんなカッコいい中学生になりたいと思った。」と書いてくれた。実際1年生の担当によると、「昨年、今年と1年生の環境学習に対する意気込みが今までと違う」と感じている。

今後の課題は、環境学習で学んだことを、いかに主体的に実践できる生徒を育てるかだと感じる。生徒達は環境学習を楽しく学び知識を身につける

ことができたが、学んだことを行動に結びつけるのはむずかしいと言う課題が、生徒アンケートの結果浮かび上がってきた。今後も「体験」「連携」「発信」の3つの点を柱として、生徒にとってより楽しく為になるように、教員には、よりやりがいのある環境教育とするため、さらにカリキュラムの精選をすすめていくことが必要だと考えている。

学校名	守山市立守山中学校
住 所	守山市石田町350番地
電話番号	077-585-0321
E-mail	morichu@city-mariyama.ed.jp